



## だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2  
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831  
E-mail: noudai@pref.aichi.lg.jp  
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



## CONTENTS

- 1 専攻紹介（養豚・養鶏専攻）
- 2 派遣実習を終えて
- 3 各専攻トピックス
- 4 クラブ紹介（野球部、バスケットボール部）
- 5 トピックス  
受講者1000人目は農大生（ドローン体験講座）  
農業高校農場長との意見交換  
特別推薦入学試験の実施  
農業経営士協会研修会の実施  
農業ふれあい研修の実施  
生産高度化研修等の開催
- 6 お知らせ  
令和5年度入学者選抜試験  
農大祭2022の開催

愛知県立農業大学校  
公式HP



SNS

Instagram



Twitter



## 専攻紹介

# 養豚・養鶏専攻

## 養豚

養豚専攻では、6名（1年生2名、2年生4名）の学生が、豚の交配から分娩、育成、肥育、出荷に至るまでの一貫した飼養管理の知識と技術を学んでいます。特に、派遣実習を終えた1年生は、担当する母豚を決め、責任感を持って飼養管理ができるようにしています。プロジェクト研究でも飼料内容を変えて、食味性への影響を調査し、おいしい豚肉作りに取り組んでいます。また、畜産加工演習でハムやソーセージの加工についても学んでいます。



分娩した子豚



ミルクの給与



肉豚の体重測定



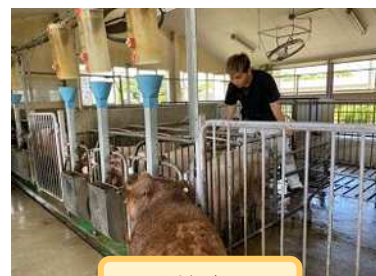
人工授精

おいしいハム・ソーセージができたよ！



畜産加工演習

豚、かわいいヨ！



発情確認



機材の修理

## 養 鶏

養鶏専攻は、9名（1年生5名、2年生4名）の学生が、愛知県の特産である「卵用名古屋コーチン」を主体に、白色レグホーン、ロードアイランドレッド、アローカナ、烏骨鶏を合わせて約2,400羽飼養しています。育雛舎はウインドレス鶏舎、成鶏舎は開放鶏舎とウインドレス鶏舎のタイプの違う2鶏舎があり、育雛から成鶏までの飼養管理技術を一貫で学ぶことができます。また、鶏種や飼養形態による飼養管理方法の違いを学習できます。飼養管理ばかりではなく、実習販売等を通して、売り方やブランド化など販売方法についても学んでいます。



育雛鶏舎



ウインドレス鶏舎



開放鶏舎



ヒナの受け入れ



デビーク



洗卵作業



卵パック作成



実習販売

特集

派遣実習に行ってきました！



本校農学科1年生72名が9月13日から10月21日までの39日間、先進農家でより実践的な技術や経営方法、農家生活を体験する「派遣実習」に行ってきました。  
多くの学生はこの派遣実習で、農大では経験できないことを学び、農大での実習との差を感じながら、一皮むけて成長した姿で帰ってきました。

鉢物緑花木専攻  
坂元楓華さん



Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？

海外から購入したアンスリウム苗の5号鉢への鉢上げを行いました。生産量が農大と比べると非常に多いので、1日に2百鉢程度を毎日行いました。受け入れ農家さんと話をしながら、集中力を保って作業しました。

Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？

アンスリウムのたくさんの品種を見ることができ、品種の特徴、気温による発色の違いを学びました。毎日の鉢上げ作業で、手早く適切に行うようになったことが実感できました。また、忍耐力もついたと思います。

Q 派遣実習の感想

受け入れ農家さんが優しくしてくださり、緊張することなく作業できました。お昼ご飯も毎日ごちそうになりながら、品評会での受賞、以前の仕事などのいろんなお話を聞かせていただき、楽しく過ごすことができました。派遣実習の経験を今後の専攻実習に生かしていきたいと思っています。

受入農家

太田克幸さん(岡崎市)



Q 派遣期間中、どんな作業等をしましたか？

コンバイン収穫の補助作業や水稲収穫の際、邪魔になるクサネム等の雑草取り、畦畔の草刈りや田んぼを貸してくれる地主さんへのお米の配達に同行させていただきました。  
また、排水溝の泥上げは大変な作業でしたが、色々な生き物がいたことには驚きました。

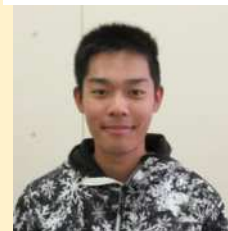
Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？

僕自身、非農家で高校は普通科出身なので、農業について知らないことが多かったのですが、僕の質問に対して、派遣先の加藤さんから丁寧に説明していただき、農協の役割などについても理解することができました。

Q 派遣実習の感想

加藤さんは、愛知県農大の卒業生で、農大の昔話なども聞かせていただき楽しかったです。また、毎日自転車で片道30分かけて通勤し、農作業をしたことで、ずいぶん体力に自信ができました。  
この派遣実習で得た経験を今後の専攻実習に活かしていきたいです。

作物専攻  
平松拓海さん



受入農家

(株)オペレーター加藤さん  
(岡崎市)



施設野菜専攻  
藤井照磨さん



**Q 派遣期間中、どんな作業等をしていましたか？**

ミニトマトの誘引や脇芽取りをしました。単純作業ですが集中力・忍耐力が必要な作業で、最初の頃は温室内の暑さもあり大変でした。休憩時間にはパートさんやベトナムからの実習生と楽しく過ごすことができました。

**Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？**

栽培技術はもちろんですが、経営理念やモチベーション、トマトへの愛情など精神的な事を多く学びました。

**Q 派遣実習の感想**

最初は迷惑を掛けないか心配でした。得るものも多く、優しくしていただき、やって良かった。

**<受入農家 田中農園（田原市）>**

初めの印象は、学生らしい緊張感がありながらも、笑顔で挨拶もしっかりできると思いました。

実習では、言われた事に一生懸命、真面目に取り組む姿に感心しました。

この実習を通して、これからの学生生活、就職に何か一つでも生かしてくれたら嬉しいです。

受入農家  
田中農園さん（田原市）



**Q 派遣期間中、どんな作業等をしていましたか？**

実習先は300頭規模の酪農家さんで、搾乳や子牛への哺乳・育成牛への餌やりを毎日行っていました。他にも乾乳牛への餌やり、大豆かす・おからなどをういたエコフィードの作業もやらせていただきました。

**Q 派遣実習でどんなことを学びましたか？**

農大では子牛への哺乳量は毎日決められた量を与えていますが、小笠原牧場では子牛が十分満足する量のミルクを飲ませていました。そのため子牛の成長が著しく、哺乳量が子牛の成長率に大きく関わることを実感しました。今後の専攻実習では子牛を課題に取り組んでいきたいと思っています。

**Q 派遣実習の感想**

受け入れ農家さんは様々なことを教えてください、とても勉強になりました。農大の飼育管理との違いも多く、派遣実習前には気にならなかった点も目にとまるようになりました。今後の実習にいかしていきたいです。

酪農専攻  
吉田綾音さん



受入農家  
小笠原牧場さん（西尾市）



## 専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！



### 豊作！甘くておいしい『紅はるか』

秋らしい気候になり、サツマイモの季節になりました。露地野菜専攻で5月頃に定植したサツマイモが収穫時期を迎え、順に掘り取り作業を進めています。今年度は『紅はるか』という品種を栽培し豊作で、糖度が高く甘いイモがたくさんできています。収穫後はハウスで4日程度キュアリングをして傷が腐るのを予防し、糖度を高くするために熟成させます。12月3日（土）の農大祭で、専攻生が作った焼き芋を販売するので是非ご賞味ください。



### 自分の担当ハウスの収支は赤字？黒字？

2年生の「経営管理演習」を専攻内で行いました。今年度はそれぞれ1年かけて栽培してきた自分の担当ハウスの売り上げを集計し、労働時間と経費からハウスごとの所得を算出しました。中には赤字になることを信じられず何度も計算する学生、自分の労働時間に対する時給が100円を切る学生もおり、いかに農業で「稼ぐ」ということが大変かを実感できたようでした。

発表では所得を向上するための改善策の提案を行い、学生らしい前向きな改善策が出されるなど有意義な演習となりました。



### 無事にお米の収穫終了！「あいちのかおり」も一等米に!!

10月で3.3haのすべてのほ場でお米の収穫が終了しました。レンゲを緑肥に使用し、化学農薬と化学肥料を栽培期間中使っていない環境に優しい米作りを行っているほ場では、ここ数年でトップクラスの収量をたたき出しました。学生が頑張って除草をしてくれたおかげです。また、「あいちのかおり」の品質検査をJAあいち三河で実施しました。結果は見事“一等米”！品質は折り紙付きです。





## 実習販売を華やかに

農大祭や年末の需要期に収穫のピークを迎えるように栽培を進めているため、今の時期に収穫できる切花は他のシーズンに比べて少なめです。そのため、実習販売でも商品があまり用意できず、そのままではなんとも寂しい店構えに…。

そこで学生たちは考えました。ディスプレイに凝ればよいと。以前から、ポップ広告を作るなど雰囲気作りに力を入れていましたが、今回はオシャレな飲食店にあるような広告ボードを作ってみました。さらに、購入された花束にメッセージを添えるなど、花の少ない時期でもお客さんに楽しんでいただけるように工夫しています。



## 山で過ごしたシンビジウムが帰ってきました

師走になるとお花屋さんや百貨店に並ぶ「シンビジウム」、自然に岡崎で育てると花が咲くのは2月や3月頃になります。12月に花を咲かせるために必要なことは「山あげ」です！！涼しい山のうえで夏を過ごして快適に花芽をつけてもらいます。実は学生にも人気のイベントです。今月まで山で過ごしたシンビジウムが農大に帰ってきました。例年よりも立派な花芽がついていて早く満開にならないかと今から楽しみにしています。



## 千葉県立農業大学校で先輩に再会

果樹専攻では、10月5日、県外学習で千葉県立農業大学校に行きました！千葉農大では、模擬会社の運営や、ナシのジョイント用の大苗育苗、スマート農業の一環として草刈りロボットの導入が行われている等、独自の取り組みが多くありました。

千葉農大の研究科に進学した本校の先輩からは、取り組んでいる卒論について話をしてもらい、学生も熱心に聞いていました。ブルーベリー園の樹がとても大きくて印象的でした♪





## 大きくなったね！

酪農専攻では月に1回体重測定を行っています。毎月の体重や体つきを確認することでその月はきちんと餌を食べていたか、健康に異常はないかなどを知ることができます。大きな牛になるほど子牛時代と比べて手をかける頻度が減ってくるため、月に1度の体重測定は成長の確認の機会としてだけではなく、牛と学生とのふれあいの場としても貴重な行事となります。

こちらはジャージー種の「カイ」。順調に育っています。



## 派遣実習が終了しました

1年生が派遣実習を終えて帰ってきました。派遣先では学校では学べない作業や技術の習得に取り組み、有意義な1か月半だったと思います。

1年生には自分の管理する母豚を決め、責任を持って、母豚の管理ができるようにしています。派遣実習の成果を踏まえ、より良い繁殖成績が得られるように頑張っていきます。



## 「あきたま」販売開始

1年生の派遣実習が終わりました。派遣先では慣れない作業や人間関係に悩み、考えさせられることもたくさんあって大変な1か月半だったとは思いますが、考えた分だけ成長も大きいものであったと思います。

帰ってきた彼らには農業大学の改革者として引っ張っていてもらいたいです。

一方、鶏たちもたまごを産み始め、1か月ほど経ちました。たまごの数も多くなり、実習販売ができるようになりました。しかし、正規のサイズになるまでもう少しかかります。そのため、「あきたま」としてお値打ちに販売しておりますので是非お買い求めください。





学生紹介

## 学生クラブ紹介

### 野 球 部



部 員 数 20名（男子20名）

活動日時 木曜日 16：30～

活動場所 農大グラウンド



こんにちは野球部です！僕たちは週に1回、農大のグラウンドで爽やかな汗を光らせて練習に励んでいます。今年は念願の東近スポーツ大会にも出場でき、野球を通して他県の農業大学校と交流することができました。部活動の雰囲気も良く、チーム一丸となって楽しく活動しています。野球が大好きな方、興味のある方いつでも部員募集中です！！

### バスケットボール部



部 員 数 18名（男子16名 女子2名）

活動日時 月曜日 17：00～

活動場所 体育館



皆こんにちは、バスケ部です！バスケ未経験の部員も多い中、今年の東海近畿スポーツ大会では準優勝という成績を収めることができました。部活の時間の中でゲーム形式の練習をすることもあり、学年関係なく楽しい部活です！

## トピックス

### 受講者 1000 人目は農大生！～岡崎のドローン体験講座～

10月12日（水）に岡崎市中小企業・勤労者支援センターが実施しているドローン操縦体験講座に農大生が参加したところ、記念すべき1000人目の受講者となりました。

農業でドローンを活用する学習の一環として、今回の操縦体験に参加したのは、作物専攻2年の野田将吾さん、門脇幹さん、磯部陸斗さんです。岡崎市の中根市長出席のもと、記念セレモニーが開かれ、農大生3人には記念品として小型ドローンが贈られました。卒業後にはドローンを活用した活躍が期待されます。



中根岡崎市長との記念撮影

### 農業関係高等学校農場長との意見交換会

9月30日（金）に、農業関係高等学校農場長との意見交換会を行いました。

農大の概要と近況報告、農業高校全体の動向説明に続き、農高と農大の技術交流について意見交換を行いました。昼食は和耕寮（学生寮）で提供されているメニューを堪能していただき、午後は農大を見学していただきました。農大見学では、農高を卒業した学生が説明と近況報告を行い、農大で成長した姿を見せる機会となりました。



### 農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験を実施

9月29日（木）に行われた令和5年度入学農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験では、県内農業関係高校6校から14名が受験しました。そのうちの10名が農業後継者、4名が非農家で卒業後は就農を考えています。専攻別では、露地野菜を希望する受験者が多くいました。

合格発表は10月7日（金）に行い、14名全員が合格しました。

今後、令和5年度入学一般推薦入学試験を10月31日（月）に行います。

就農や雇用就農に意欲のある学生の応募を期待しています。

## 愛知県農業経営士協会研修会(経営管理研修)を実施

10月5日（水）に愛知県農業経営士協会、青年農業士連絡協議会並びに本校の共催で、経営管理研修「愛知県農業経営士協会研修会」を開催し、県内各地から42名の参加がありました。

研修会では、株式会社農テラス代表山下弘幸氏を講師に、「これからの「時代」に必要とされる「農業人」を育てるには」をテーマに講演が行われました。

- まず、初めに、講師の自己紹介があり、①現在農業経営コンサルタントとして活躍している。②youtubeチャンネルで総視聴回数76.7万回を達成している。③講演セミナーに総延べ数2万人を動員している。④農業ビジネススクールを受講生300人で実施している。などの紹介がありました。



次に、講演内容の3本柱として①これからの「時代」を読み解く方法②これからの「時代」へ伝えてほしい農魂③これからの「時代」に必要とされる人になれるが順次、話されました。

最後に、まとめとして、①「時代」の流れを俯瞰的に捉える②「お金」を残すことを伝える③「誰に」必要とされるかを決めるが述べられました。

山下氏は、大変歯切れのいい口調で、身振り手振りも加えて大変熱心に講演され、参加者の理解も進んだと思われます。

また、研修後のアンケート結果においても、「今後の経営の指針にしたい。」「講師の失敗談が大変ためになった。」「まるでアナウンサーのようだった」などの回答もあり、有意義な研修会となりました。

## 小学生を迎えて農業ふれあい研修を実施

10月14日（金）に豊川特別支援学校の小学生20名を迎えて、農業ふれあい研修を実施しました。当日は、トラクターの乗車体験をした後、酪農専攻の牛舎を見学しました。トラクターの乗車体験では、トラクターの乗車方法について説明を聞き、楽しそうにトラクターに乗っていました。

牛舎の見学では、酪農専攻の先生の説明を受けた後、牛にエサをやりました。大きな牛に囲まれて少し怖がっている様子でしたが、牛についていろいろ勉強できたと思います。



## ナシの高品質安定生産について学ぶ

10月13日（木）に西三河総合庁舎において「ナシ新品種「蒼月」、「甘太」の品種特性と「あいみずき（品種名：瑞月）の高品質安定生産」をテーマに、愛知県果樹振興会ナシ部会と、農業大学校の共催による生産高度化研修（果樹：ナシ）を開催し、ナシ農家及び関係機関70名の参加がありました。

研修は、基調講演として農研機構の西尾主任研究員からナシ新品種「蒼月」、「甘太」の品種特性について講演の後、農業総合試験場の大野主任研究員から「あいみずき（品種名：瑞月）の高品質安定生産について講演がありました。総合討議では新品種の特性や栽培のポイントについて討議がなされ農家からも「糖度はどの位か」「収量はどの位か」等熱心な質疑が展開され、研修会後のアンケートにおいても「品種の特性がよく分かった」、「新しい品種を導入する時に参考になった」などの意見が多く、有意義な研修会となりました。



## 生産高度化研修(養牛)を開催

10月19日（水）、生産高度化研修（養牛）を農業総合試験場の養牛に関する実用化技術研究会との共催で実施しました。

テーマは「スマート農業技術の養牛経営への利活用について」で、農家及び関係機関から39名の参加がありました。

この研修会では、農業総合試験場と共同研究を行っている、愛知県立大学情報科学部の入部百合絵准教授より、「牛の鳴き声による個体識別と発情検知について」の講演がありました。

出席者は、普段聞くことのない農業関係以外からの最新研究成果に興味深く聞き入っていました。その他に、農業総合試験場からスマート農業技術の普及状況と農場の臭気の見える化について情報提供がありました。



## 経営管理研修「地域ぐるみの獣害対策」

10月20日（木）に本校と愛知県農業総合試験場の共催で、経営管理研修「地域ぐるみの獣害対策」を開催し、県内各地から33名の参加がありました。

研修会では、①愛知県新城設楽農林事務所農業改良普及課安井俊樹技師より「新城市における集落ぐるみの獣害対策」と題され、「新城市は、83%が森林で、イノシシ等による農作物被害が深刻になっている。「みんなで集落を守る」気運が高まり、全長3kmの柵を完成させた」等との発表がありました。

②NPO法人愛猟鈴木康弘代表より「獣害対策の実際」と題され、「NPO法人愛猟は、2019年5月に結成され、鳥獣害被害の軽減の狩猟ではなく、本来の狩猟の魅力・鳥獣の利用についても取り組んでいる」等の発表がありました。

③愛知県森林・林業技術センター狩場晴也技師より、「ニホンジカの生息状況と対策」と題され、「野生鳥獣による森林被害面積は全国で約6千haに上り、内7割がシカによる被害である。その対策として、費用・労力の確保、狩猟人口の低下を食い止める」等との発表がありました。

④愛知県農業水産局農業振興課野生イノシシ対策室辻井修室長補佐より、「愛知県の鳥獣害防止策について」と題され、「やっちはいけない3箇条、○何もできないので駆除してもらう、○自分の田畑だけしっかり守ればいい、○忌避資材を使えば大丈夫」等の発表がありました。

最後に、愛知県農業総合試験場林高弘専門員が座長を務め、総合質疑が行われました。

いずれの講演も実践的であり、有意義な研修会となりました。



## お知らせ

### 愛知県立農業大学校 令和5年度 入学者選抜試験

#### ●一般入学一次試験

出願期間 11月10日(木)～11月25日(金)  
試験日 12月9日(金)  
合格発表 12月20日(火)  
試験科目 数学Ⅰ、小論文（800字以内）、面接試験  
募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数



※ 詳細は、本校ホームページを御覧ください

### 農業総合試験場公開デーと岡崎市農林業祭に出店します

11月3日（木・祝日）午前10時から長久手市の農総試で行われる公開デーで農大の農産物を販売します。お近くの方は是非お立ち寄りください。

また、11月5日（土）午前9時から岡崎市の乙川河川敷右岸で行われる岡崎市農林業祭でも農大の農産物を販売します。左岸では商工フェアも行われ、同じ日の午後2時から家康行列が市の中心部で行われます。駐車場がありませんので名鉄の東岡崎駅を御利用ください。

## 農大祭2022を開催！！

愛知県立農業大学校は、農畜産物販売などを通して地域の方との交流を図り、農業大学校を身近に感じ、愛知県の農業の魅力を発信することを目的に「農大祭2022」を開催します。

#### ■ 開催日時

12月3日（土）午前9時から午後1時まで（入場開始 午前8時30分）

#### ■ テーマ

やりたいことを全力で ～笑顔満天 農大祭～

#### ■ 主な内容

##### ① 農畜産物の直売、食品バザー

各専攻で育てた鉢植、切花、米、果樹、野菜、卵などの直売。おでん、五平餅、甘酒、パウンドケーキの販売など。

##### ② 農業大学校のPR

各専攻のパネル展示、農大キャンパスツアーを行い、農大を知るとともに魅力を発信。

##### ③ 各種団体・企業ブース

農業大学校に関係する団体、企業がブースを出展し、展示や即売。

※駐車場は例年混雑するため、公共交通機関を御利用ください。

公共交通機関の御案内：名鉄美合駅下車 南へ徒歩10分

愛知県立農業大学校



# 笑顔満天 農大祭

日時：2022年12月3日（土）  
午前9時から午後1時